

第18回日韓国際セラミックスセミナー開催

11月20～22日、国分シビックセンターで、第18回日韓国際セラミックスセミナーが開催されました。（主催：同セミナー組織委員会）

このセミナーは、日本・韓国両国間で長い歴史的關係を持つセラミックス分野において、日韓の科学技術交流、人的交流を図るもので、1984年から日韓両国で交互に開催されてきました。

期間中は、日韓の研究者233名（韓国側62名）が集まり、日本、韓国、タイから3件の特別講演と122件の研究発表が行われました。また、同期間中に開催されていた「薩摩焼フェスタ」の

視察も併せて行い、伝統的なセラミックス技術との交流も深めました。

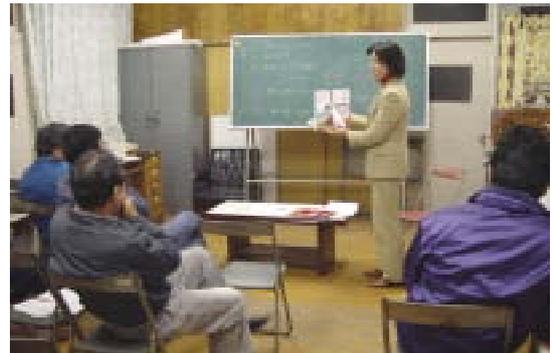


研究発表会風景

現代型仏壇研究会

当センターでは平成10～12年度に「川辺仏壇の新設計・製造システムに関する研究」を行ってきましたが、その成果を踏まえ本年度は「現代型仏壇に関する研究」を実施しており、その中で「現代型仏壇研究会」を開催しています。

この研究会では、東京などの大都市圏へ向けた新しいデザインの仏壇を企画・開発するのを目標としており、現在川辺仏壇製造業者12社が参加し活動を行っています。



研究会風景

塗装工学分科会の開催

当センターが事務局となり、平成13年度産業技術連携推進会議物質工学部会第9回塗装工学分科会が9月20・21日鹿児島市で開催されました。独立法人産業技術総合研究所と全国22の公立試験研究機関から30名が出席し、塗装に関する情報交換や試験研究の協力・調整に関して討議がなされました。今回の会議では、(財)日本塗料検査協会専務理事の橋本定明氏や東京大学名誉教授の熊野谿従氏に特別講演をしていただき、産学官の連携を深めることができました。



分科会の活動風景

鹿児島県企業立地懇話会の開催

11月9日に鹿児島県企業立地懇話会（県企業誘致推進協議会主催）が大阪市で開催されました。在阪企業67社の約80名が出席する中、知事のあいさつに続いて、商工観光労働部長が「本県立地環境」について、鹿児島大学学長が「産学官共同研究支援制度」を説明後、工技センター所長が「県工業技術センターの研究成果」について説明を行いました。展示コーナーでは工技センターからは、「炭酸ガスレーザーを用いた木材加工技術」、「超精密加工技術の研究」、「電子機器の誤動作箇所検出装置の開発」の3テーマについて展示を行い、産学官共同研究成果の展示では、（株）エルムが「CD再研磨装置の開発」、UM

AT（株）は「強誘電体セラミックスターゲット」について展示を行い、多くの来場者の関心を集めました。



工技センターの展示コーナー

技術・市場交流プラザの開催

「つくろう21世紀～多様なネットワークで拓く価値創造～」を大会テーマに掲げた「平成13年度九州・沖縄ブロック技術・市場交流プラザ鹿児島大会」（中小企業総合事業団など主催）が10月18・19の2日間、鹿児島市で開催されました。九州・沖縄各県で積極的に活動を行っている異業種交流グループ関係者等が一堂に会し、地域特性を活かした多面的な技術・市場交流の方策について交流を行いました。また、「全国中小企業活性化支援会議【九州・沖縄ブロック会議】」も同時に開催されました。参加者は400

人を超え、基調講演やパネルディスカッションを軸に交流の輪を広げました。



講演会の風景

県試験研究機関発表会の開催

本県試験研究機関の最近の研究成果を広く県民に紹介し、県試験研究機関への理解を深めてもらう目的で、10月31日と11月1日の両日、鹿児島市のMBCいづろドームで県試験研究機関研究成果展示発表会が開催されました。工業技術センターからは「カンショを用いた発酵食品の開発」、「仏壇製造技術を活用した小工芸品の開発」、「天然バインダーを用いた木炭成果品」について成果を展示発表しました。



工技センターの展示コーナー